

防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	泉川校区まちづくり連合自治会	住所	新居浜市瀬戸町12-3	電話	41-6463
研修日時	令和4年10月30日 日曜日 10時00分～13時00分	研修対象者	泉川校区防災士会員、自治会員	研修人数	36名
研修場所	泉川公民館 大会議室	研修目的	地域の皆さんの安全・安心を確保するため、有事の際に即戦力となれる体制作りを推進する		
講師	越智 理恵 森野 重明	ファシリテータ	菅 秀臣	おザ-パ- 川端・沼田	協力者 泉川まちづくり連合自治会 3名

事前打合せ

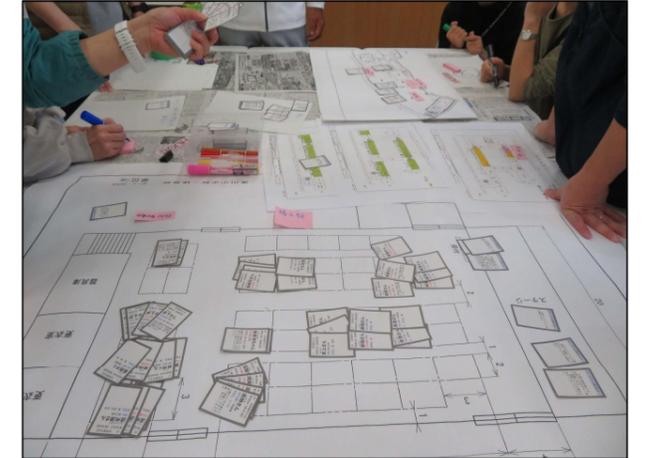
日時	令和4年10月21日 16時～17時	場所	泉川公民館 会議室
参加者 研修者	泉川校区防災会員 菅 春樹	参加者 ネットワーク	事務局 菅 秀臣
研修日時	10月30日 日曜日 10時～13時	講習内容	地震バージョン 120分
場所	泉川公民館 大会議室	準備品について	教材(カード)、PC HUG研修に必要な備品についてはネットワークにて準備します。 設備(マイク、スクリーン)については泉川公民館にて貸与願います。 養生紙(新聞紙)は公民館で準備する。
参加者予定	泉川校区まちづくり連合自治会		
当日までに決める事(泉川校区)	グループ分け 校区で事前に決める。		
当日は公民館に駐車所を確保する。			

防災訓練等指導内容

指導開始挨拶及びグループ分け	→ 受付も含めまちづくり連合自治会で事前に決めている。
指導スケジュールの説明	HUG体験者は数名いる。 参加者 連合自治会員 校区防災会員 校区自治会員 男性 22名 女性 14名 計36名
HUG体験研修	<ul style="list-style-type: none"> 読手、リーダーを決める。 読手の説明 沼田(校区防災士)により説明。 体育館内の配置(通路含)等は、校区内で決めている。また、使用可能な教室についても学校・自治会で事前に打ち合わせ決定している。当日資料に色分けして配布。 1m×3m→1区画として45区画、約90名収容可能な状態に計画され避難できる状態が確立されている。 今までに校区独自でHUG研修を行った実績を持っている。 全体的に読手、カードの配列にはなれている様子であり、掲示板に記入して周辺の壁に掲示してカードは対応済み欄に整理することができている。 ファシリテータは、各テーブルを廻り指導を行う。 休憩時には、各テーブルをまわり研修内容の見学を行う。
講師寸評	今回の泉川校区避難訓練参加者は、防災意識も高く積極的なHUG研修が行われていました。避難者の年齢、性別、戸籍などそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるのか、また避難所で起こる様々な出来事に対応していくか各班で真剣に取り組まれました。避難所運営についてゲームを通して考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。

発行番号No.

令和4年10月30日



カードの読み上げ枚数 1班 128枚 2班 136枚 3班 225枚
4班 127枚 5班 126枚 6班 176枚

各テーブルで体験研修意見集約を行い発表

- 1班 避難してきた人を1階から入れてきたので後から来た、ケガ人・障害者の人たちを3階に案内するしかなかった。支援物資の配布等考慮した案内がきちなかった。
- 2班 外国人は3階、ケガ人は1階と案内を行った。
- 3班 本部・受付の配置・設置場所が、避難者を案内する上で非常に重要であることが再確認できた。
- 4班 動物の置き場に苦労した。特に鳥類については避難者と一緒にいいのかまた別にするのか判断がつかない。
- 5班 ゲームの意図がわからなかったが、ゲームが進行するに従って理解ができた。
- 6班 HUGゲームのルールがもっと定まっていれば、いろいろな事が発生する問題にたいしてスムーズにはかどりを戸感した。

ペットの取扱いについて

- 1班 全部外にだす 2班 未解決 3班 人と動物は分ける 4班 犬は外に出す 5班 ウサギ小屋に 6班 盲導犬は避難者と一緒に中にいれる。

トイレについて

- 仮設トイレの使用方法については普段より勉強しておく必要がある。また、事前準備の必要があり日常的に準備しておく必要がある。簡易トイレの作り方等も勉強しておくことが大切である。女性についての問題は必ず覚えておく事。